

Nouryon

行動規範 倫理規定

正しい行動を



2026年6月発効



目次

1. はじめに

2. SpeakUp!と報告

3. 信頼に値する

- 贈収賄防止と腐敗防止
- 貿易コンプライアンス
- 独占禁止と公正な競争
- 資金洗浄防止
- 第三者との関係

4. 責任を果たす

- 利益相反
- 贈答品および接待
- 政治活動

5. 慎重に行動する

- 会社資産
- データ保護
- 個人データ
- 機密
- 人工知能の利用
- 正確な帳簿および記録

6. 配慮する

- ハラスメント禁止と差別禁止
- 安全衛生
- ソーシャルメディアとビジネスコミュニケーション

7. 責任を果たす

- 環境への責務
- 人権と労働慣行

8. リソース



章のタイトルをクリックすると、該当する章の最初のページが表示されます

会長兼CEOあいさつ



Nouryonに対する世界的な評価の基礎を形成するのは、Nouryon従業員一人ひとりの誠実さ、共有された価値観、そして倫理的な行動規範です。これらの要素を大切にしながら仕事に取り組むことは、会社の事業の成功と、従業員の専門性向上にとっても強力な基盤となります。

取締役会は、「Nouryon行動規範および倫理規定（以下「本規範」）」を承認しました。これは、Nouryonのコンプライアンスプログラムを支える、事業運営の基本原則を示すものです。付随するその他の方針や手順を含め、本規範は、あらゆる状況において皆さんの行動の指針となることでしょう。本規範は、Nouryon経営陣が全面的に支持するもので、世界中のすべてのNouryon従業員、およびNouryonと契約関係にある個人が忠実に実行すべきものです。究極的に、Nouryonにとって最も重要な資産とは、誠実さと評価であり、私たち一人ひとりがそれを守っていかなければなりません。だからこそ、Nouryon従業員一人ひとりが行動規範を理解し、行動規範に沿った行動を取ることが不可欠なのです。

本規範に定められた高い基準に応え、会社の評価、誠実さを守ってくださる皆さんに感謝の意を表します。

敬具

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Charlie Shaver'.

Charlie Shaver

1. 私たちの価値観

「正しい行動を」は、Nouryonの中核的な価値観のひとつです。当社の「行動規範および倫理規定」では、適用されるすべての法律およびNouryonの方針を遵守するほかにも、倫理的に考え行動することが求められています。成果を達成する方法も、成果そのものと同様に重要です。本規範は全従業員が守るべきものです。



高い目標を掲げる

Nouryonは、高い目標とパフォーマンスを奨励する企業文化を育み、高い基準を設定してそれを超えるよう努めています。



責任感を持つ

Nouryon従業員は、自分の仕事に当事者意識を持ち、自らの行動と決定に責任を持つよう奨励されています。



正しい行動を

この価値観は、誠実さと倫理的な行動規範の重要性を強調するものです。つまり、誰も見ていなくても、正しい行動をとることです。



本規範では、Nouryon従業員が直面する可能性のあるすべての状況を網羅することはできませんが、肝心なのは、会社や従業員に良い影響を与えるような方法で業務を遂行することです。

ある行動が倫理的かどうか判断に迷う場合は、次を自問してください。それでも判断に迷う場合は、行動を起こす前に、上司、法務またはコンプライアンスチームのメンバーに相談してください。

ある行動が倫理的かどうか判断に迷う場合は、次を自問してください。

- この行動は合法的か。
- 本規範を遵守しているか。
- この行動が公になったとき、公的機関の調査に耐えるか。
- この行動が、Nouryonの倫理的な会社としての評価を高めるものかどうか。

すべて「はい」

先に進んでください

確信がない

助言を受ける - 上司、法務部およびコンプライアンス部門に相談してください

すべて「いいえ」

絶対にやめてください！

それでも判断に迷う場合は、行動を起こす前に、上司、法務またはコンプライアンスチームのメンバーに相談してください。

本規範は、重要な倫理原則について定め、Nouryon従業員およびNouryonと契約関係にある個人がいかに業務全般を遂行すべきかを規定するものです。より詳細な日常業務については、Nouryonの方針および手順に記載されています。本規範はNouryonの多くの方針に関連していますが、すべての方針を確認するには、[方針ポータル](#)にアクセスしてください。

取締役会は経営陣に対し、本規範および会社の方針に従い、会社の活動を確実に管理する責務を課しています。

また、Nouryon従業員全員が、自身の業務および責任範囲に適用される法的および倫理的な要件について理解する必要があります。

本規範に違反する権限は誰にもありません。そのような行為を行う者は、Nouryonの最善の利益に反して、あくまでも自身の利益のために行動していることになり、しかるべき懲戒処分が科せられます。

まずすべきこと

- 本規範を確認し、理解する
- 倫理的に行動し、適切な判断を下す
- 担当業務に適用されるルールを理解する
- 疑問、助言、懸念事項については、社内のリソースに問い合わせる
- 本規範を支えるイニシアチブとトレーニングをすべて受け入れる
- 倫理に反する、または法令、当社規範、方針に違反すると疑われる行為は、SpeakUp!に報告する



私は妥協せずに高い基準を追求し、自分の行動に責任を持ちます。



上司の責任

管理職には、次の責任もあります。

- チームの各メンバーが本規範を読み、理解するよう図る
- 誠実に率先する – チームに求める行動を自ら率先して模範となる
- 行動に関する問題についてチームメンバーが安心して質問したり、懸念を提起したりできるオープンな企業文化を醸成する
- ガイダンスが必要な場合は社内リソースに連絡する
- 善意に基づきSpeakUp!報告を行った従業員への報復を防止するために措置を講じる

上司は、[Nouryonのリーダーシップ能力フレームワーク](#)をチームの文化に取り込むよう期待されています。

2.SpeakUp!と報告

気付いたことを伝えましょう。

本規範を遵守し、倫理的なビジネス慣行へのコミットメントを反映した行動を取ることは、安全で敬意のある、包括的な職場環境を維持するために不可欠です。

問い合わせ、問題提起、違反の通報。

Nouryonは、常に当社の行動規範を遵守するよう取り組んでいます。不適切、不正または違法な行為について懸念がある場合には、以下の適切な社内リソースに報告（SpeakUp!）してください。

- 上司
- 法務チーム
- コンプライアンスチーム（nouryoncompliance@nouryon.com）
- 人事チーム
- [SpeakUp!](#)報告用ホットライン

[SpeakUp!](#)は30か国語に対応しています。報告は、適用法に準じて匿名で行うことができ、機密として取り扱われます。

SpeakUp! プロセス

Q. [SpeakUp!](#)レポートを送信するとどうなりますか？

A. 以下にプロセスフローの一般的な説明を示します。プロセスの詳細については、Nouryonの「[SpeakUp!](#)」をご覧ください。プロセスフローチャート



トレーニングの取り組み：

ハラスメントや差別、敬意ある職場、サイバーセキュリティ、職場の安全、強制労働、児童労働、SpeakUp!、報復禁止に関するトピックなどの行動規範について、全従業員を対象に毎年トレーニングを実施しています。利益相反、詐欺、反競争、贈収賄および汚職、国際貿易などの特定のリスク分野に関与する可能性に応じて、その他の行動規範トピックに関するトレーニングが必須として割り当てられています。

Nouryonの全従業員と契約関係にある者は、以下の責任を負います。

- 本規範およびすべての方針を読んで遵守すること
- 割り当てられた必須トレーニングをすべて期限内に修了する

すべての従業員は、年に一度、本規範を読み、電子的に同意することが義務付けられています。

本規範に違反した場合の結果：

法律や本規範に違反する行為は、深刻な影響をもたらします。適用法または本規範に抵触、違反した従業員、Nouryonと契約関係にある人物は、懲戒処分の対象となります。これには、解雇、雇用関連手当の喪失、場合によっては刑事訴訟、民事訴訟といった処罰が含まれます。

調査への協力：

調査中、協力や情報の提供を依頼されることがあります。全面的な協力と支援が求められます。依頼に応じない場合は、本規範およびNouryonの方針に違反する行為とみなされます。

権利放棄：

本規範の権利放棄または例外措置は、副社長執行役員兼法務顧問（Executive Vice President & General Counsel）が事前に、または例外的に認めた場合にのみ許諾されます。

報復禁止と秘密保持：

適用法や行動規範への違反行為、または違反の可能性を善意で報告した従業員や、社内または政府の執行機関による調査に協力した従業員に対する報復は一切許容しません。報復を受けた従業員は、直ちに以下に記載されるいずれかの担当部門に報告してください。「SpeakUp!」上での悪意ある通報（例：恐喝、脅迫、正当な根拠のない申し立て等）は、本規範に対する違反と見なされ、解雇を含む懲戒処分の対象となります。

報告された違反の調査と解決：

- 規範や適用法の違反の可能性がある報告内容については、必要に応じて直ちに評価、調査を開始します。詳細については、Nouryonの「[SpeakUp!および報復禁止に関する方針](#)」をご覧ください。



私は、不適切、非倫理的、または違法な行為に関する懸念を共有する義務があることを理解しています。

3. 信頼に値する

贈収賄防止と腐敗防止
貿易コンプライアンス
独占禁止と公正な競争
資金洗浄防止
第三者との関係



法令の遵守は、Nouryonの「行動規範および倫理規定」の根幹をなすものです。Nouryonは様々な国の異なる司法権の下で事業を展開しているため、従業員は、出張先やNouryonが事業を運営するすべての国で適用法を遵守しなければなりません。すべての法律、規則、規程を詳細に把握することはできないとしても、コンプライアンスまたは法務チームに助言を求める必要があるケースを判断できるだけの知識を持つことが重要です。



贈収賄防止と腐敗防止：

Nouryonは、米国海外腐敗行為防止法（FCPA）、英国贈収賄防止法をはじめとする、事業を展開する各国の汚職防止関連法を遵守します。政府または政党の役人、政治家候補者、ビジネスパートナー、従業員など相手が誰であっても、賄賂、リベート、その他不適切な利益を他人に提供、贈与、要求、受領することは決して適切な行為ではありません。現金のほか、贈答品、接待、政治献金、慈善寄付も、賄賂、リベートなどの不適切な利益供与にあたるので注意してください。また、Nouryonは、コンプライアンスに対するNouryonのコミットメントを共有するパートナーのみと取引を行います。

まずすべきこと：

- 賄賂の提供、支払い、要求、受領は決して行わない
- 賄賂や汚職と受け取られるような状況は、常に避ける
- 政府関係者や規制当局者への対応には注意する。政府関係者に高価な物品を提供する際は、事前に法務およびコンプライアンス部門に確認してください。

詳細については、「[Nouryonの反汚職に関する方針](#)」をご覧ください。



私は、いかなる形でも贈収賄や汚職に関与しません。

国際貿易法：

Nouryonは日々世界各国で、製品や生活必需品、原材料の輸出入を行っており、これらの活動を管理するすべての法律、規則、規制を遵守しなければなりません。これらの法律には、従業員が拠点とする、または市民権を持つ、オランダや米国、その他各国における輸出および貿易に関する規制、反ボイコット法が含まれます。その他の国でも、特定の個人、政府、企業に対する制裁が科されることがあり、その対象範囲は制裁ごとに大きく異なっています。Nouryonは、特定の管轄区域において事業を行うこと、当該区域に製品や設備を輸送することを禁止しています。同様に、制裁を受けた個人または企業との取引も禁止しています。従業員は、Nouryonが輸出入および貿易に関する適用法を遵守していることを確認し、税関その他の関連当局に対してはNouryonの事業について正確かつ虚偽のない情報を提供しなければなりません。

まずすべきこと：

- 製品や技術の輸出入、規制対象の製品や技術の販売、あるいは国際的な支払いに関わる従業員は、関連法規、顧客やサプライヤーの身元、製品の最終用途や最終目的地、支払方法について認識しておく必要があります。
- 貿易関連法規の違反またはその疑いがあれば、上司、法務部、コンプライアンス部門に報告してください。

詳細は、[Nouryonの「要注意国に関する方針」](#)で、取引が禁止されている国、またはコンプライアンス部門の事前承認が必要な国の最新リストをご覧ください。



独占禁止法と公正な競争：

私たちは、競争を保護、支持する目的で策定された全ての法律を遵守します。Nouryonは、顧客、サプライヤー、競合企業と公平な取引を行うよう努めなければなりません。内部情報の改竄、隠蔽、悪用や、重要な情報の虚偽記載、その他の不正行為によって、ビジネスパートナーから不当な利益を得てはなりません。公正取引法および独占禁止法は、公式、非公式にかかわらず、情報の改竄、価格操作、不当に競合企業を貶めることを目的として、競合企業間で協定を取り交わすことを原則禁止することで、業界の競争を保護しています。

まずすべきこと：

- 競合他社とやり取りする場合は、必ず[競争法に関するリソース](#)を参照する
- 競争法や独占禁止法に関して疑問が生じた場合は、必ず法務およびコンプライアンス部門に助言を求める

詳細は、[Nouryonの競争法コンプライアンスポリシー](#)をご覧ください。

競合情報とは：

競合他社に関する情報の利用は、正当な商業活動の一環として起こり得ます。ただし、競合他社に関する情報は一般に公開されている内容やベンチマーク企業から入手しなければなりません。競合他社の商業上の機密情報を提供しようとする人物がいれば、丁重にお断りし、直ちに法務部またはコンプライアンス部門に報告し、評価を受けてください。



私は、法律の精神と文言を遵守することで、当社の競争上の優位性を高めます。

やるべきこと

- 機密情報には触れずに、業界の動向、基準、ベストプラクティスについて話し合う
- すでに公開されている情報を共有する
- 会議中に話し合われた内容について、詳細な記録を残しておく
- 競合他社との会議について、必ず上司に報告する
- トピックが適切かどうか不明な場合、または疑わしい話し合いや提案を報告するには、法務部またはコンプライアンス部門に連絡する

やるべきでないこと

- 現在または将来の価格戦略について話す
- 管轄区域、顧客、市場の分割について話し合う
- 非公開の機密情報を共有する
- 第三者と契約や合意の条件について協議する
- 当社または競合他社が提出予定の入札/応札について話し合う
- 競合他社を市場から排除する戦略について話し合う



資金洗浄防止：

反資金洗浄法やテロ資金供与対策法およびその規制を遵守しなければなりません。受け取った違法な資金を隠蔽または「洗浄」したり、資金源の合法化を企てたりしてはいけません。資金洗浄に関わらないために、従業員は、必ず会社の支払い手順に従ってください。また、従業員は、不正な、または普段とは異なる支払方法、返金要求、その他疑わしい取引を警戒し、見つけた場合には直ちにコンプライアンスまたは法務チームに報告してください。

まずすべきこと：

- 支払方法に普段と異なる点がないか注意する
- 支払いに懸念がある場合は、別の方式を使用するよう依頼し、懸念を上司に報告する
- 取引が疑わしいと思われる場合は、その取引を進めない場合でも、法務部またはコンプライアンス部に報告する

第三者との関係：

直接および間接を問わず、サプライヤーはいかなる事業の成功にも重要な関係者です。当社はサプライヤーを慎重に選定し、サプライヤーが契約上の要件を満たし、法律、当社規範および方針を遵守するよう適切な措置を講じています。責任あるサプライヤーと協働することは、[企業の社会的責任](#)の重要な一環です。

すべてのビジネスパートナーに対しても、あらゆる適用法令を遵守し、常に本ビジネスパートナー行動規範に記載されている基本倫理原則を実践することを求めます。法律や契約に不履行や違反があった場合、Nouryonはビジネス関係を見直す可能性があります。

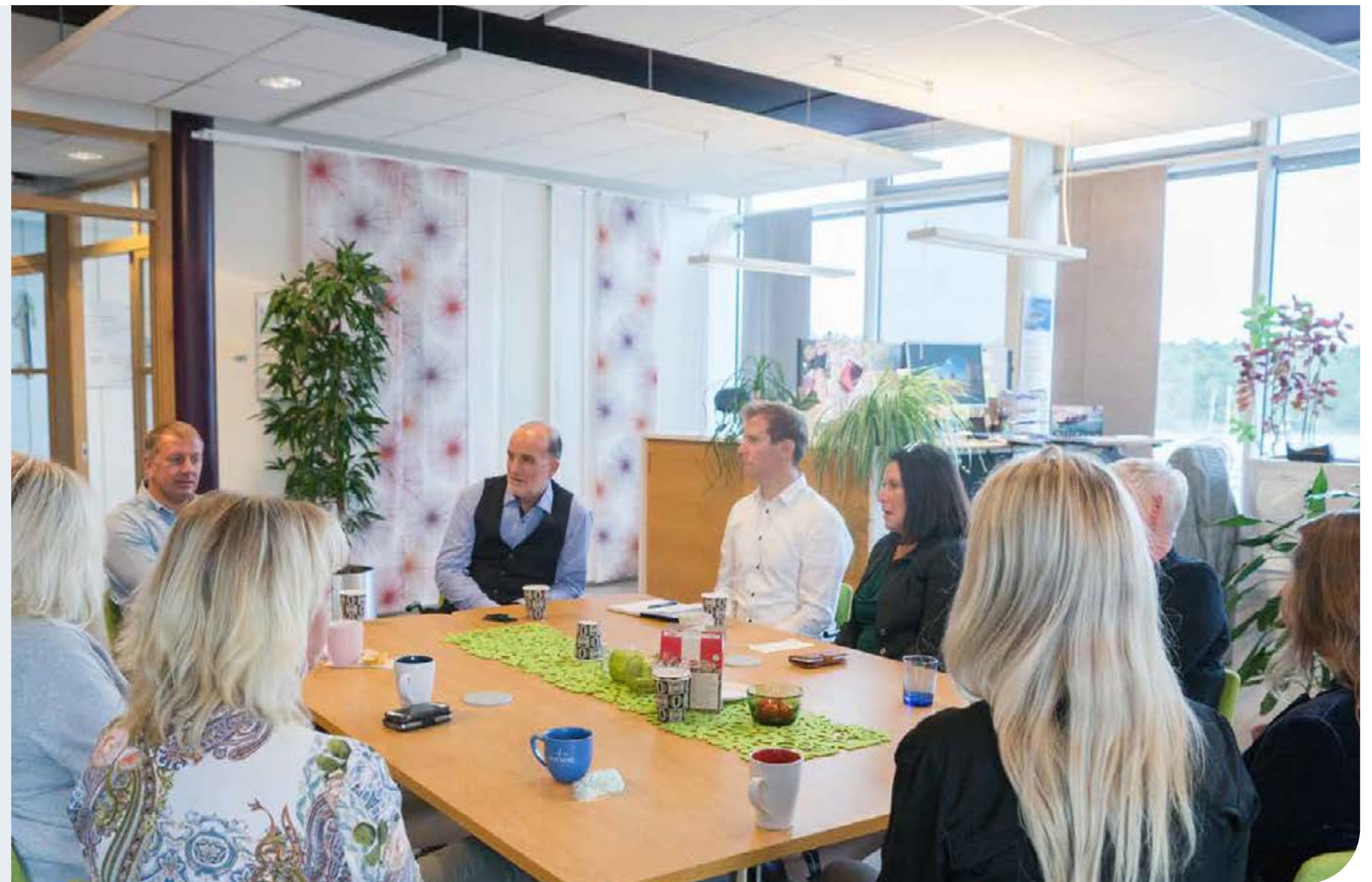
まずすべきこと：

- サプライヤーが当社のビジネスパートナー行動規範の要件を満たしていることを確認する

詳細は、[ビジネスパートナー行動規範](#)をご覧ください。

4.責任を果たす

利益相反
贈答品および接待
政治活動



Nouryonは、従業員が個人的な事柄について自身で決定する権利を尊重します。ただし、利益相反が生じる、または生じる可能性がある行動、つまり、個人の利害とNouryonの利害が相反する（またはそのように受け取られる）状況につながる行動は避けなければなりません。利益相反が実際に生じている、または生じていると考えられる場合は、副社長執行役員兼法務顧問（Executive Vice President & General Counsel）、最高コンプライアンス責任者（Chief Compliance Officer）に、個人的関係に関連して利益相反の可能性がある場合は、HRビジネスパートナーに直ちに報告してください。

個人的関係：

従業員は、社内外での個人的な人間関係に注意して、利益相反に該当する状況または利益相反につながる可能性のある状況を報告し、そのような状況に関与しないようにする必要があります。例えば、ある従業員の親族が関わる雇用関連の意思決定に、その従業員が参加することはできません。

まずすべきこと：

- 利益相反の可能性がある場合はすべて開示する
- 当社の開示プロセスについてご質問がある場合は、コンプライアンス部に問い合わせる
- 利益相反がある場合には、意思決定者として行動しない
- 利益相反の可能性があるとと思われる状況はすべて報告する

詳細については、[Nouryonの「利益相反方針」](#)をご覧ください。

社外での雇用および金銭的な利害関係：

競合他社や顧客、サプライヤー、ベンダーで副業を行うことは、ほとんどの場合、利益相反に該当します。また、従業員または近親者がNouryonの競合企業や取引企業、またはNouryonとの取引を希望している企業と金銭的な利害関係がある場合も、金銭的な利害関係が「[利益相反方針](#)」に記載されている例外に該当しない限り、利益相反に該当する可能性があります。



私は、私的な利益と仕事上の利益の相反を避けます。利益相反の可能性がある場合は、それを開示します。

これは利益相反か？自問してください。

- 個人的な利害や関係が、自分の意思決定に影響を与える可能性はあるか？
- 他者にとって利益相反と受け取られる可能性はあるか？
- Nouryonでの担当業務に支障をきたすことはあるか？
- 会社のリソース、関係、または自分の立場を個人的な利益のために利用しているか？
- Nouryonの利益と競合しているか？

いずれかに「はい」と答えた場合、相反の可能性があります。

[コンプライアンス部門](#)に問い合わせ、指示を仰いでください。



贈答品および接待：

贈答品のやり取りや接待が、状況的に妥当かつ適切なものであり、経営判断に不適切な影響を及ぼさず、かつ受領者が適用法や規則を遵守しているという条件下において、適切な贈答品や接待は、長期にわたる事業の連携にとって有益なものであるといえます。

政府機関職員との贈答品のやり取りまたは接待を行う際は、事前に法務またはコンプライアンスチームに相談し、Nouryonの方針および適用法を遵守しているかどうかを確認してください。

受け取るべきケース

- 控えめな価格で、品位をわきまえたもの
- ペン、Tシャツ、ロゴ入りアイテムなどの記念品
- 不定期または低頻度

受け取るべきでないケース

- 何らかの行動と引き換えに提供される
- 現金または現金同等物（ギフトカードなど）
- 控えめな価値を超える、または贅沢なもの

贈答品や接待に関する詳細は、Nouryonの「[食事、贈答品および接待に関する方針](#)」および「[汚職防止に関する方針](#)」をご覧ください。

政治活動：

Nouryonで担当する職務と自身の政治活動は切り離してください。会社の資産（時間、施設、設備など）をこのような活動に使用することは不適切です。公的な職務を引き受ける場合は、事前に上司に知らせてください。

Nouryonを代表して政治活動に参加する場合は、Nouryonの方針および手続きに基づき承認を得てください。現在、Nouryonは政治献金を行っておらず、Nouryonの代理として政治献金を行うことはできません。

今後、Nouryonが政治献金を行う決定をした場合、そのような献金にはExecutive Vice President & General CounselおよびCEOの承認が必要となります。

まずすべきこと：

- 政治活動は勤務時間外に行う
- 自分自身のリソースを使用する
- 承認なく当社の代理として発言することは避ける



5. 慎重に行動する

会社資産

データ保護

個人データ

機密

人工知能の利用

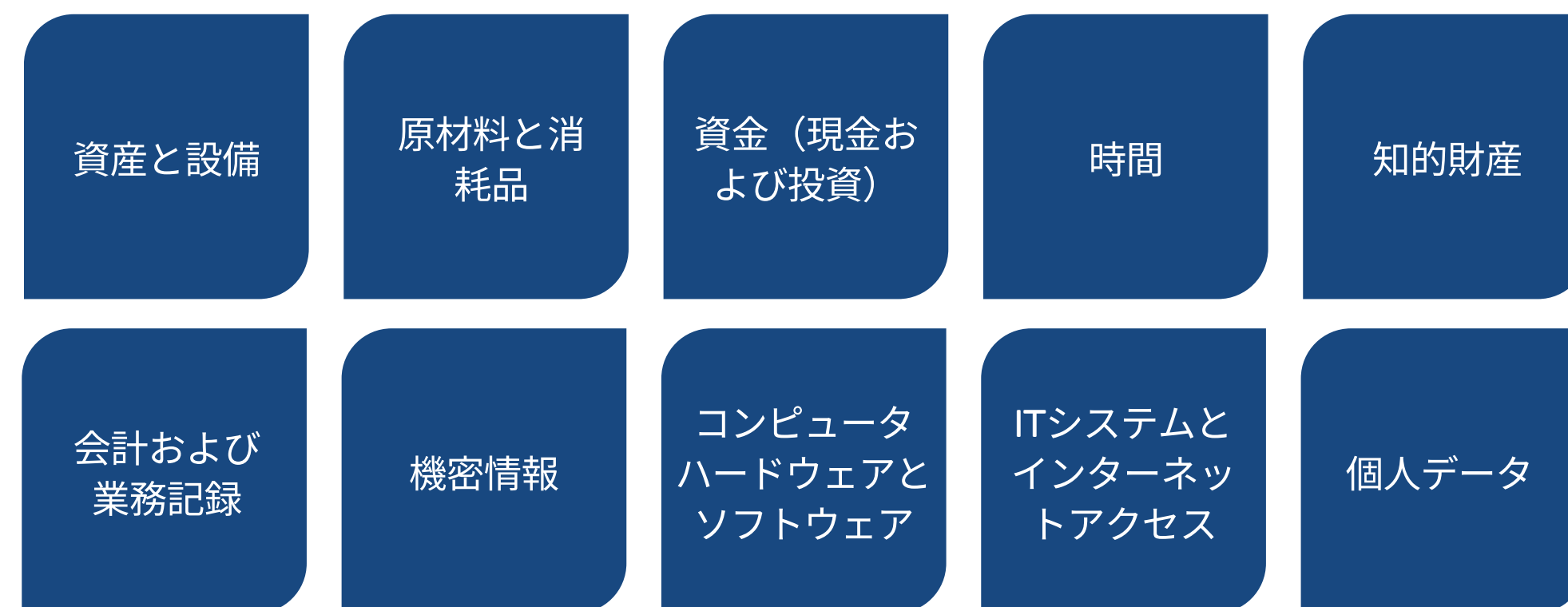
正確な帳簿および記録



会社資産：

当社の資産は、事業運営に不可欠です。私たち全員に、会社の資産と私たちのデータを保護する義務があります。

会社資産の例：



容認される技術の使用：Nouryonのテクノロジーリソースを使用する際、一人ひとりの的確な判断が求められます。NouryonのEメールやイントラネットを使用し、攻撃的または不適切なコンテンツを送信したり、これらの情報にアクセスしたりしてはいけません。従業員は、第三者による不適切な情報の開示やその使用から、Nouryonの知的財産およびその他の会社の秘密情報を保護しなければなりません。

文書保持：Nouryonの文書管理に関する方針および法定通知を遵守してください。これらの方針は、ハードコピー、電子ファイル、Eメール、テキストメッセージ、動画、バックアップテープを含む、Nouryonが作成した記録文書の保管および破棄に適用されます。

データの機密保護：

Nouryonのデータを安全に保ち、従業員、顧客、ビジネスパートナーとの信頼関係を築くことが、Nouryonの事業をさらに強化することにつながります。Nouryonのデータの機密保護に関する方針を遵守してください。パスワード、ユーザーID、アクセスカード、暗号キーまたは認証キーには特に注意を払ってください。企業秘密、契約内容、製造法、個人情報、価格設定に関する情報を含むすべての秘密情報、非公開情報を保護しなければなりません。

サイバーセキュリティ：私たちは、フィッシングなどのサイバー攻撃から会社を守る責任があります。すべてのセキュリティインシデントは、コンプライアンスチームまたはサイバーセキュリティチームに直ちに報告する必要があります。アクセス権限のない、またはアクセスすべきでない内部コンテンツへのアクセスを試みることや第三者のプラットフォームへの「ハッキング」、実際にアクセスすることは固く禁じられています。

知的財産保護：知的財産はNouryonにとって最も価値のある資産の1つであり、その保護は全従業員の重要な責務です。私たち一人ひとりに、商標、特許、著作権、企業秘密、独自のノウハウやメソッド、生産工程を保護する責任があります。社内外を問わず、Nouryon独自の技術や企業秘密を損なう恐れのある情報を無断で開示することは、会社に重大な危機をもたらします。同様に、第三者の有効な知的財産権を尊重することも大切です。第三者の知的財産の不正利用は、NouryonおよびNouryon従業員に対し民事上の損害を与え、刑事処分の対象となります。

まずすべきこと：

- 盗難、損害、詐欺などから、あらゆる形態のNouryonの資産を保護する
- 発行された資産（アクセスカードなど）は安全に保管する

詳細については、[Nouryonの「システムとデバイスの容認される利用」](#)をご覧ください。

個人データ：

Nouryonの業務を通じて、従業員、顧客またはビジネスパートナーの個人情報の作成、確認、使用、アクセス、受領、または処理をする機会があるでしょう。個人情報を収集、使用、共有する際は、プライバシー保護に関する法律およびNouryonの社内ガイダンスに従ってください。

個人データの例：

氏名	メールアドレス	IPアドレス	自宅住所	電話番号
財務情報	ID番号	医療情報	国籍	ジェンダー

詳細については、[Nouryonの従業員の個人情報保護に関する方針](#)をご覧ください。



私は会社の資産を保護し、盗難や悪用に関与しません。

機密：

私たちは会社の情報や、委託された情報の守秘義務を遵守しなければなりません。秘密情報とは、開示された場合に競合企業に利用されたり、会社や顧客に危害を与えたりする恐れのある非公開のすべての情報を意味します。マーケティング計画、営業データ、財務データ、従業員や顧客の個人情報、戦略内容、知的財産、法律上の特権によって保護された文書等が秘密情報にあたります。秘密情報の収集、保管、移転を行う際は、すべての関連法および会社の方針に従わなければなりません。Nouryonの秘密情報を個人の利益やNouryonとの競合を目的として使用することは禁止されています。

まずすべきこと：

- 業務に必要な情報のみにアクセスを限定
- 公共の場所では、Nouryonの情報を話さない
- 正当な業務上の理由により情報を知る必要があり、かつ契約に機密保持条項がある、承認を受けた第三者に対してのみ機密情報を共有する
- 承認されたソフトウェアのみをインストールすることで、ウイルスやマルウェアからネットワークを保護する
- 同僚、顧客、ビジネスパートナーの個人情報の保護には特に注意を払う
- 顧客やビジネスパートナーの機密情報を保護し、安全を確保する
- 機密情報の盗難や不正使用の疑いがある場合は、直ちに法務およびコンプライアンス部門に報告する

正確な帳簿および記録：

正確な記録の保管：正確かつ完全な、最新の情報を記録し保管することはあなたの義務です。会社の記録文書や会計帳簿には、記録する取引の本質が正確に反映されていなければなりません。虚偽の記載または誤解を招く恐れのある情報を記録することは禁止されています。

詐欺行為および会社資産の不正流用：社内の承認プロセス、会計および財務報告の原則に則り、全ての取引を適切に記録してください。それらは必要に応じて調査の対象となります。不正であることを知りながら、Nouryonの企業活動に関する偽造文書を作成、使用、受領したり、Nouryonの収益を個人の銀行口座に振り込むことを要求または承認したりしてはなりません。また、第三者によるNouryonに対する詐欺行為の企てに関与またはそれを幫助してはなりません。また、会社の資産流用を防ぐため適切な措置を講じる必要があります。詐欺行為が疑われる場合は、必ず地域または事業の管理者、コンプライアンス、または法務チームに報告してください。

まずすべきこと：

- すべての業務記録が完全かつ正確であることを確認する
- 虚偽または誤解を招くような情報を提出しない
- いかなる詐欺の事実、疑い、または試みを報告する
- 当社の高い基準を維持する

会社資金の適切な使用：

私たち全員に、会社の財務リソースを保護する責任があります。これには、個々の従業員への贈答品、食事、または慶弔等（出産、冠婚葬祭、休暇、退職など）に会社の資金を使用しないことも含まれます。ただし、全社的な取り組みである場合や、副社長執行役員兼法務顧問（Executive Vice President & General Counsel）が事前承認している場合を除きます。個人への贈答品やイベントを開催するために個人の資金を利用または集めることや、長年勤めた退職者のために会社が贈答品や食事会のための資金を提供することは禁止されません。



人工知能の利用

Nouryonは、人工知能（AI）技術が当社の事業運営を強化する可能性を認識するとともに、これらのツールがもたらし得るリスクについても理解しています。当社は、適用される法令および当社の企業価値に従い、AIを責任を持って、倫理的に使用することに取り組んでいます。

生成AIプラットフォーム、チャットボット、機械学習アプリケーションを含むAIツールを使用する際には、適切な判断を行い、適切な人的監視を維持しなければなりません。従業員は、必要に応じてAI関連の研修に参加し、AIのリスクと限界について常に認識しておくことが求められます。AIは人間の意思決定を補完するものであり、代替するものであってはなりません。特に、重大な事業上、法的または倫理的な影響を及ぼす可能性のある事項についてはなおさらです。

機密情報の保護：Nouryonの機密情報、営業秘密、専有データ、個人データ、または顧客情報を外部のAIツールに入力してはなりません。ただし、当該ツールが業務使用について承認されており、適切なデータ保護契約の対象となっている場合を除きます。CISO、IM、およびLegal & Complianceが承認したAIツールのみを使用してください。承認されたツールは、Nouryonのデータが管理された環境内に留まり、第三者のモデルトレーニングに使用されたり、組織外に開示されたりすることがないように評価済みです。あるツールが承認されているかどうか不明な場合は、使用前にCISO、IM、またはLegal & Complianceにお問い合わせください。

正確性と人的監視：AIが生成したコンテンツには、誤り、偏り、または不正確な情報が含まれている可能性があります。AIが生成したすべての出力を、事業上の意思決定、コミュニケーション、または成果物に使用する前に、確認・検証する責任は利用者にあります。

外部への開示：AIが生成したコンテンツの開示に関する適用される法的または規制上の要件を遵守し、開示が必要かどうか不明な場合は法務部門にご相談ください。

バイアスと公平性：AIシステムは、トレーニングデータに存在するバイアスを反映または増幅する可能性があることにご留意ください。事業上の意思決定に活用するAIツールを使用する際には、潜在的なバイアスを特定し軽減するための措置を講じてください。

まず自分から：

- Nouryonが承認したAIツールのみを使用する
- 未承認のAIプラットフォームに機密情報または専有情報を入力しない
- AIが生成した出力の正確性を常に確認・検証する
- AIの限界を認識し、AIが支援する意思決定において人間としての判断力を行使する
- AIツールが承認されているかどうか、または責任ある使用方法について不明な場合はガイダンスを求める
- 必要なAI研修に参加し、会社の方針について常に最新の情報を把握する

詳細については、[NouryonのAI利用に関するポリシーをご参照ください。](#)



私は、承認されたAIツールを責任を持って使用し、Nouryonの機密情報を危険にさらしたり、適切な検証なしにAIの出力に依存したりしないことを約束します。

6. 他者に配慮する

ハラスメント禁止と差別禁止

安全衛生

ソーシャルメディアとビジネスコミュニケーション



ハラスメント禁止と差別禁止：

職場における多様性は、私たちの重要な資産です。私たちは、雇用関係においてあらゆる側面で平等に機会を提供し、年齢、人種、肌の色、国籍、宗教、性別、性同一性、性的志向、その他保護されるべきステータスに基づく差別を一切容認しません。人種や民族に基づく侮辱的な発言や相手を不快にさせる性的なアプローチなど、差別やハラスメントを容認しません。

相互の尊重：

私たちは、お客様やサプライヤー、同僚、一般の人々とどのように関わるべきかを規定する職業的および倫理的に高い基準を設けています。人に対して礼儀、尊厳、尊敬を持って接します。これには、Nouryonと他社の財産を大切にすること、常に公正かつ誠実な行動を心掛けること、より良い結果を求めて協力して働くこと、事業を展開する国々における法律や慣習を理解するための取り組みを行うことが含まれます。Nouryonでは、一切の威嚇、対立、脅迫を容認しません。

懲戒処分とカウンセリング：

Nouryonは、非公式に行われるカウンセリングや従業員研修、公式に行われるカウンセリングや、解雇を含む罰則を科す懲戒処分を適切に実行することで、職場における業績や業務に関する基準を維持しています。

まずすべきこと：

- 人に対し尊厳と尊敬をもって接する
- 多様性と他者の貢献を尊重する
- 尊敬を重んじる文化を創生する
- 職場環境において積極的に包括的に行動する
- 人や状況に対する判断に影響を与えうる無意識のバイアスに注意する

安全衛生：

全従業員にとって、健康と安全を守ることが一人ひとりの責任です。Nouryonは、安全な労働環境を提供し、従業員、顧客、そして事業を展開するコミュニティの環境、健康と安全性を守る責任があります。

職場の安全衛生：

社員には、全ての関連する法律、規則、規程そして方針を遵守し、同様にNouryonの救命規則を満たした、安全で清潔かつ健全な職場環境で働く資格があります。すべてのNouryon従業員は、安全に関する基準と慣例に従って業務を遂行しなければなりません。すべての企業活動は、必要な許認可、承認、管理の下で行われなければなりません。安全を確保できない状況や安全を脅かす行動が確認された場合は、直ちに作業を停止し上司に知らせてください。

製品の安全性：

製品のラベルを適切に表示し、関連法や会社の方針に従って製品取扱い要件を伝えなければなりません。

まずすべきこと：

- 常に安全な方法で作業する
- 危険なものを見かけたら、作業を中断して対処する
- 職場における薬物およびアルコールに関するすべての現地の方針に従う
- 現地の安全要件を遵守する
- 救命規則を守る

詳細については、[NouryonのQHSE&S方針](#)をご覧ください。

当社独自の安全プログラム「[Nouryonケア](#)」は、健康、安全、地域社会への貢献に重点を置いています。



ソーシャルメディアとビジネスコミュニケーション：

特別に許可を得ない限り、社名を公にして話すことや、Nouryonに関する機密情報や秘密情報について公の場で開示することは控えてください。許可を得た従業員のみが、Nouryonを名乗り公の場で話すことができます。Nouryonを代表して発言する場合は、虚偽のない、正確かつ丁寧なコミュニケーションを心掛けてください。

コミュニケーションの手段にかかわらず、ビジネス上のコミュニケーションには十分配慮し、高い基準を満たす必要があります。個人の意見を、会社の意見として相手に伝えたり、提示したりしてはいけません。ソーシャルメディアを使用する際は、会社のガイドラインに従い、分別のある常識的な言動を心掛けてください。

まずすべきこと：

- 公開する内容には注意すること。職場で口外しないようなことは、オンラインでも口外しないでください。
- ソーシャルメディアを使用してすべきではないこと：
 - 機密情報を共有する
 - 本規範に違反する
 - ハラスメント、差別、報復を行う
 - その他の法律や倫理基準に違反する

詳しくは、[Nouryonの「ソーシャルメディアに関する方針」](#)をご覧ください。

7. 責任を果たす

環境への責務
人権と労働慣行



環境への責務：

私たちは環境への責務を果たし、未来の世代のために環境資源を守ります。そのためには、危険物の使用、保管、廃棄に関する規制をはじめ、地方自治体や国が定める環境に関する法令や規則を遵守しなければなりません。

危険物や廃棄物が不適切に処理、運搬、廃棄されている事例を見つけた場合は、すべて法務部に報告してください。

持続可能な未来に対する責任：

当社は、お客様、サプライヤー、従業員と協力して、革新的なソリューションを提供して発展を促進し、現在も将来も、すべての人に安全で持続可能なソリューションを提供します。当社の持続可能性目標は、気候変動に関する国連パリ協定および国連の持続可能な開発目標に沿ったものです。

当社の取り組み：

- 安全と環境パフォーマンスの継続的改善
- 顧客の持続可能性を高める持続可能なソリューションを創生するための成長と革新
- 従業員、顧客、サプライヤー、社会と協力して、持続可能な発展を推進する

詳細については、[Nouryonの「持続可能な開発目標」](#)をご覧ください。



私は、自分が住みたい、働きたい環境について考え、環境を保護するために自分の役割を果たします。



人権と労働慣行：

Nouryon、およびNouryonと取引関係にある第三者は、事業を行う管轄区の労働法を遵守しなければなりません。強制労働や無償労働、人身売買、児童労働を禁止し、またこれらを行う第三者との取引は行いません。世界人権宣言、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」および国際労働機関（ILO）による「労働における基本的原則及び権利に関する宣言」に規定されるとおり、すべての人の人権を認めます。

結社の自由：事業を展開する各地域で、結社の自由、プライバシー、雇用機会均等に関する法律など、適用されるすべての労働法と雇用法を認識して尊重します。

生活賃金に対する取り組み：私たちは、2030年までに全従業員に生活賃金を支払うよう取り組んでいます。

まずすべきこと：

- 強制労働、児童労働などの人権侵害が当社事業やサプライチェーン内で発生しないよう、各自の役割を果たす
- サプライヤーおよび顧客に対して責任を持って対応する

詳細については、[Nouryonのポジションステートメント](#)をご覧ください。

8.リソース

方針ポータルからの方針

問い合わせ先：nouryoncompliance@nouryon.com

システムとデバイスの容認
される利用に関する方針

贈収賄防止・汚職防止に関
する方針

競争法コンプライアンス
ポリシー

利益相反方針

従業員の個人情報保護に関
する方針

食事、贈答品および接待に
関するグローバル方針

QHSE&S方針

要注意国に関する方針

ソーシャルメディアに関
する方針

「SpeakUp!」および報復禁
止に関する方針

その他のリソース

ビジネスパートナー行動規範

ポジションステートメント

救命規則

Nouryonケア

SpeakUp! プロセスフロー

SpeakUp! 報告用ホットラ
イン

持続可能な開発目標



私は、方針と利用できるその他のリソースをしっかりと理解します。